



特集

市電はつづくよ

どこまでも

昨年12月20日、札幌の市電が42年ぶりに駅前通を走り始めました。昭和48年に途切れた西4丁目くすすきの間の約400mを結ぶ市電ループ化の実現。札幌のまちに新しい風景が生まれ、新しい都市機能が加わったのです。市電の営業最高速度は時速40km、停車時間を含めた平均速度は時速10〜15km程度。まちをトコトコ走る電車は、人によっては実に遅い乗り物に感じるかもしれませんが、効率では計れない楽しさを見せて走ります。のんびり車窓を眺める、ときに人の温かさに触れる、そんな愛すべき移動手段がまちのメインストリートに戻ってきたのです。つながったレールは、札幌の新しい歴史を刻む路。走れ、走れ、のんびり走れ！市電の物語は、未来へ続きます。